

第 14 期（2022 年度）「ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクト」助成金申請書

（西暦） 2022 年 12 月 28 日提出

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

理事長 鈴木 佑司 殿

| | | | | |
|------------------------|---|------|--|------------|
| 学校名 | [REDACTED] | | ※いずれかに☑をして下さい ☑ユネスコスクール加盟校（2010年加盟） ☐ユネスコスクール・キャンディデート | |
| 活動実施期間 | 2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 2 月 28 日 | | | |
| 申請プロジェクト名（30 字以内） | いのちのバトンをつなぐユネスコスクールの子 | | | |
| 助成申請する活動の計画概要（要約） | <p>※次ページの「①助成申請する活動の具体的内容」について、対象学年、活動の狙い・活動によって期待される成果等がわかるように、<u>100 字以内</u>で要約して下さい。</p> <p>ホールスクールアプローチをもとに、「学校の運営、教室内外の学び、設備と環境、地域との連携」の 4 つの立場から、この地球で生きていくためにできることを考え、全学年がアクションを起こしていけるようにする。</p> | | | |
| 活動分野 | <p>該当する分野に☑を入れてください（複数回答可）</p> <p>☑環境 ☑国際理解 ☑平和・人権 ☑世界遺産・地域遺産学習 ☑防災・減災教育 ☑気候変動 ☐その他（ ）</p> | | | |
| SDGs の 17 の目標の中で目指すゴール | <p>該当するゴールに☑を入れてください（複数回答可）</p> <p>☑1. 貧困をなくそう ☑10. 人と国の不平等をなくそう ☑2. 飢餓をゼロに ☑11. 住み続けられるまちづくりを ☑3. すべての人に健康と福祉を ☑12. つくる責任つかう責任 ☑4. 質の高い教育をみんなに ☑13. 気候変動に具体的な対策を ☑5. ジェンダー平等を実現しよう ☑14. 海の豊かさを守ろう ☑6. 安全な水とトイレを世界に ☑15. 陸の豊かさも守ろう ☑7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに ☑16. 平和と公正をすべての人に ☑8. 働きがいも経済成長も ☑17. パートナリシップで目標を達成しよう ☑9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> | | | |
| 助成金申請金額 | <p>☑10 万円枠 ☐30 万円枠 ←いずれかに☑を入れて下さい。 ⇒申請金額を記入してください 10 万 円（1 校あたり上限 10 万円/30 万円）</p> | | | |
| 学校住所 | [REDACTED] | | | |
| 学校長氏名 | [REDACTED] | (公印) | 学校 TEL | [REDACTED] |
| | | | 学校 FAX | [REDACTED] |
| 担当者名 ※必ず 2 名ご記入下さい | [REDACTED] | 職名 | 主任教諭 | [REDACTED] |
| | [REDACTED] | | 栄養教諭 | 同上 |
| | | | 電子メール | |

| | | |
|---|--|---|
| <p>① 助成申請する活動の具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業実践プラン ・学校の年間授業の中での位置づけ 等 <p>(継続授業の場合は、これまでの資料を参考資料として添付して下さい。)</p> | <p>400字以内 ※30万枠の助成金申請は、別紙【様式②(2年計画)】も記入</p> <p>ESDを推進する[]は「いのちのバトンをつなぐユネスコスクールの子」として、生活科・総合的な学習の時間を中心に、教科を横断しながら、全教育活動において探究的な学びに取り組む。</p> <p>1年「きせつとなかよし」(生活科)</p> <p>2年「めざせ 生きものはかせ」(生活科)</p> <p>3年「地球のための“My エシカル”」(総合的な学習の時間)</p> <p>4年「ともに生きる笑顔のまち」(総合的な学習の時間)</p> <p>5年「食と命のバトンをつなぐ」(総合的な学習の時間)</p> <p>6年「つながりで守るわたしたちの町・わたしたちの命」(総合的な学習の時間)</p> <p>自分の地域や社会の身近な問題や現実的な課題などを自分ごととして、友達や地域・保護者、さまざまな人と協働し、「対話」的な活動を通して新たな考えや価値を創り出す探究的な学びの楽しさが、持続可能な未来の担い手を育むと考える。活動による成果を、ホームページで発信したり、学校だよりのコラムで発信したりする。</p> | |
| <p>② 対象学年と人数</p> | <p>第1学年～第6学年 <u>385人</u></p> | |
| <p>③ 上記①の活動のねらい(ESDの視点に留意してお書き下さい。)</p> | <p>教室や教科・領域に留まらず、身近な地域を含めた社会とのつながりの中で学ぶことで、自分の人生や社会をよりよく変えていくことができるという実感をもてるようにする。問題を解決できる自分と出会うことが自信となり、肯定感を高めていくことで、よりよく生きようとする態度を育む。また、地域や保護者、外部に向けて、ユネスコスクールとしてのビジョンを発信していく機会とする。</p> | |
| <p>④ 期待される変容</p> <p>※持続可能な社会づくりに必要な価値観や能力・態度の習得など、上記①の活動を通して、期待される変容について、当てはまる項目を全て記入して下さい。</p> | <p>学校</p> | <p>[]小 ESD を築く設備や環境、地域との連携、目には見えないつながりや人の思いなどを創造することで、子供たちをとりまくあらゆる日常を見直すようになり、学校全体に ESD の文化が広がっていく。</p> |
| | <p>教員</p> | <p>児童と共に学び、追究していく中で、児童と教員が協働して ESD の考えや価値の良さに気付いたり、考えを創りだしたりし、ESD の視点をもって授業を行っていくようになる。</p> |
| | <p>児童生徒</p> | <p>「自分にできることは何だろう」と問い続けることで、6年間を通して探究的な学びの楽しさを実感するようになる。</p> |
| | <p>その他(保護者・地域など)</p> | <p>[]小を中心として、ESD の文化が地域に広がっていく。ユネスコスクールとして持続可能な社会づくりを地域と共に取り組んでいけるようになる。</p> |
| <p>⑤ 活動実践において、地域団体(NGO,自治会等)の協力がある場合は団体名</p> | <p>[]ユネスコ協会 地域保育園 地域農家 []住区四町会 地域消防団 商店街 一般社団法人シンク・ジ・アース テラサイクルジャパン 仲建築設計スタジオ []美術館 海外の学校(イタリア) []図書館 サステイナブルスクール形成事業(文部科学省後援) フィッシャーマンジャパン エコ・ライス新潟 []都市整備部みどりの係 []交響楽団出前授業 パーシモンホール 金七商店</p> | |

予算計画

◆助成金の使途が、申請する活動とどのように関わっているか分かるように、具体的に明記してください。
(次頁の記入例をご参照ください)

◆予算根拠がわかるよう、見積もりを添付してください。

見積もりの入手が難しい場合は、カタログのコピーなど金額のわかるものをご提出下さい。

<支出見込>

| 内訳 | 使途内容 | 積算 (単価×人数×回数) | 金額 | SDGs アシストプロジェクト助成金 使用額 |
|-----------|-----------------------|------------------|-------------|---------------------------|
| < 諸謝金 > | E S D 研修会 | 30,000 円× 1名× 1回 | 30,000 | 60,000 |
| | 3年「地球のための“My エシカル”」講師 | 15,000 円× 1名× 1回 | 15,000 | |
| | 5年「食と命のバトンをつなぐ」講師 | 15,000 円× 1名× 1回 | 15,000 | |
| < 旅費交通費 > | | 円× 名× 回 | | |
| < 通信費 > | | 円× 名× 回 | | |
| < 印刷製本費 > | | 円× 名× 回 | | |
| < 消耗品費 > | | 円× 名× 回 | | |
| < 雑費 > | ポータブル電源ソーラーパネルセット | 41,500 円× 名× 1回 | 41,500 | 41,500 |
| < その他 > | | 円× 名× 回 | | |
| 合 計 | | | (a) 101,500 | (b) 100,000 |

<収入見込>

単位：円

| 内訳 | 金額 |
|-----------------------------|-------------|
| ユネスコスクール SDGs アシストプロジェクト助成金 | (b) 100,000 |
| その他 | 1,500 |
| 合 計 | (a) 101,500 |

※その他の助成金や補助金等がある場合には、<収入見込>の「その他」の欄へご記入下さい。

※支出見込みと収入見込みの(a)と(b)は同じ金額になるようにご記入下さい。